

「九州財務局における多重債務相談の受付状況（令和５年度）」を訂正しました

令和７年４月１８日

九州財務局

令和６年６月２５日から本ホームページに掲載しておりました「九州財務局における多重債務相談の受付状況（令和５年度）」の記載に以下の誤りがありました。お詫びして訂正いたします。なお、現在は訂正後のものを掲載しております。

【概要】

訂正前	【相談者数】 ◆ 令和５年度の相談者数は513名で、前年度（419名）に比べて94件、22.4%増加しました。 ◆ 年齢別にみると、「60歳代以上」が143名と全体の約28%を占めています。 ◆ 職業別にみると、前年度同様、「給与所得者（パート・アルバイト含む）」が最も多く287名（55.9%）であり、次いで「無職」が129名（25.1%）、「自営・自由業」が60名（11.7%）となっています。 【借入れの傾向】 ◆ 借入残高は、「500万円以上」が124名（24.2%）と最も多くなっています。これは、住宅ローンを抱えている相談者が多いことが原因と思われます。次いで、「100万円未満」が111名（21.6%）となっています。 ◆ 借金の原因（複数回答）は、「商品・サービスの購入」が最も多く240名、次いで「低収入・収入の減少」が169名、「借金の返済等」が79名となっています。
訂正後	【相談者数】 ◆ 令和５年度の相談者数は490名で、前年度（419名）に比べて71件、16.9%増加しました。 ◆ 年齢別にみると、「60歳代以上」が139名と全体の約28%を占めています。 ◆ 職業別にみると、前年度同様、「給与所得者（パート・アルバイト含む）」が最も多く275名（56.1%）であり、次いで「無職」が121名（24.7%）、「自営・自由業」が59名（12.0%）となっています。 【借入れの傾向】 ◆ 借入残高は、「500万円以上」が120名（24.5%）と最も多くなっています。これは、住宅ローンを抱えている相談者が多いことが原因と思われます。次いで、「100万円未満」が103名（21.0%）となっています。 ◆ 借金の原因（複数回答）は、「商品・サービスの購入」が最も多く227名、次いで「低収入・収入の減少」が160名、「借金の返済等」が79名となっています。

【相談者の年齢構成】

訂正前

(単位：人)

年度	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上	不明
5年度	71	76	97	101	143	24	
4年度	50	49	73	93	121	31	
3年度	48	56	77	91	128	36	

■ 10歳代 ■ 20歳代 ■ 30歳代 ■ 40歳代 ■ 50歳代 ■ 60歳代以上 ■ 不明

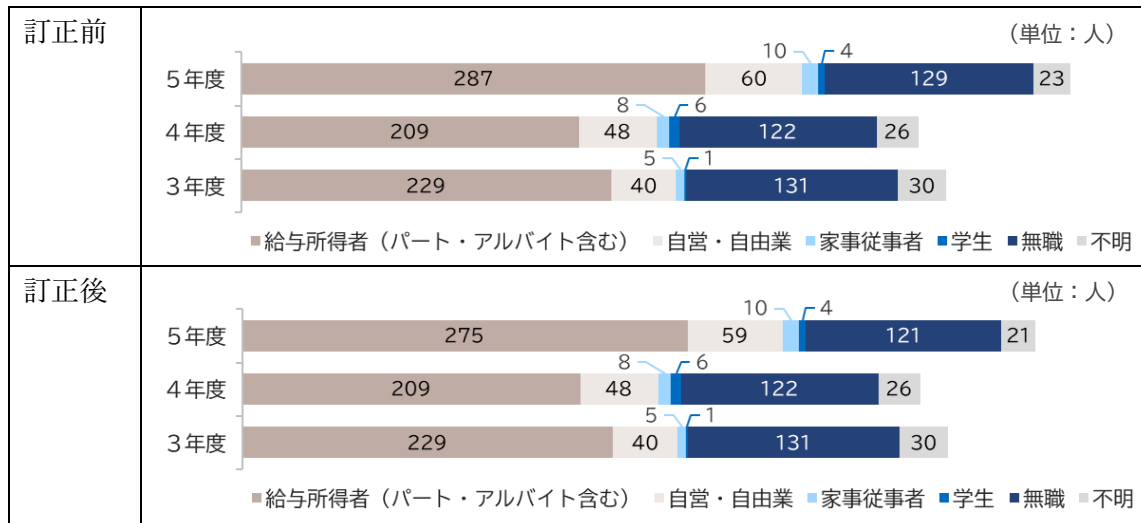
訂正後

(単位：人)

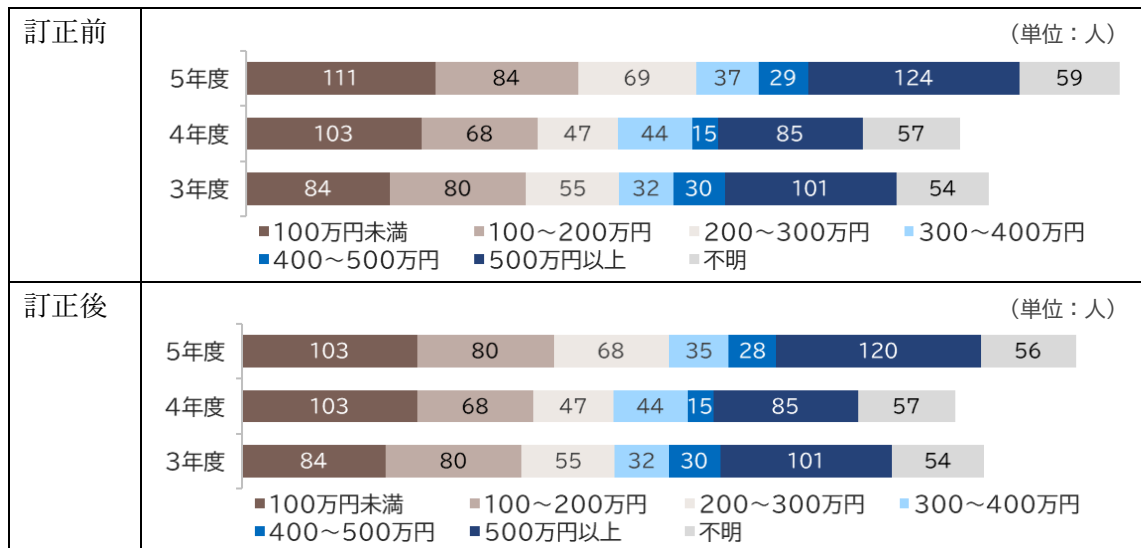
年度	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上	不明
5年度	66	72	94	95	139	23	
4年度	50	49	73	93	121	31	
3年度	48	56	77	91	128	36	

■ 10歳代 ■ 20歳代 ■ 30歳代 ■ 40歳代 ■ 50歳代 ■ 60歳代以上 ■ 不明

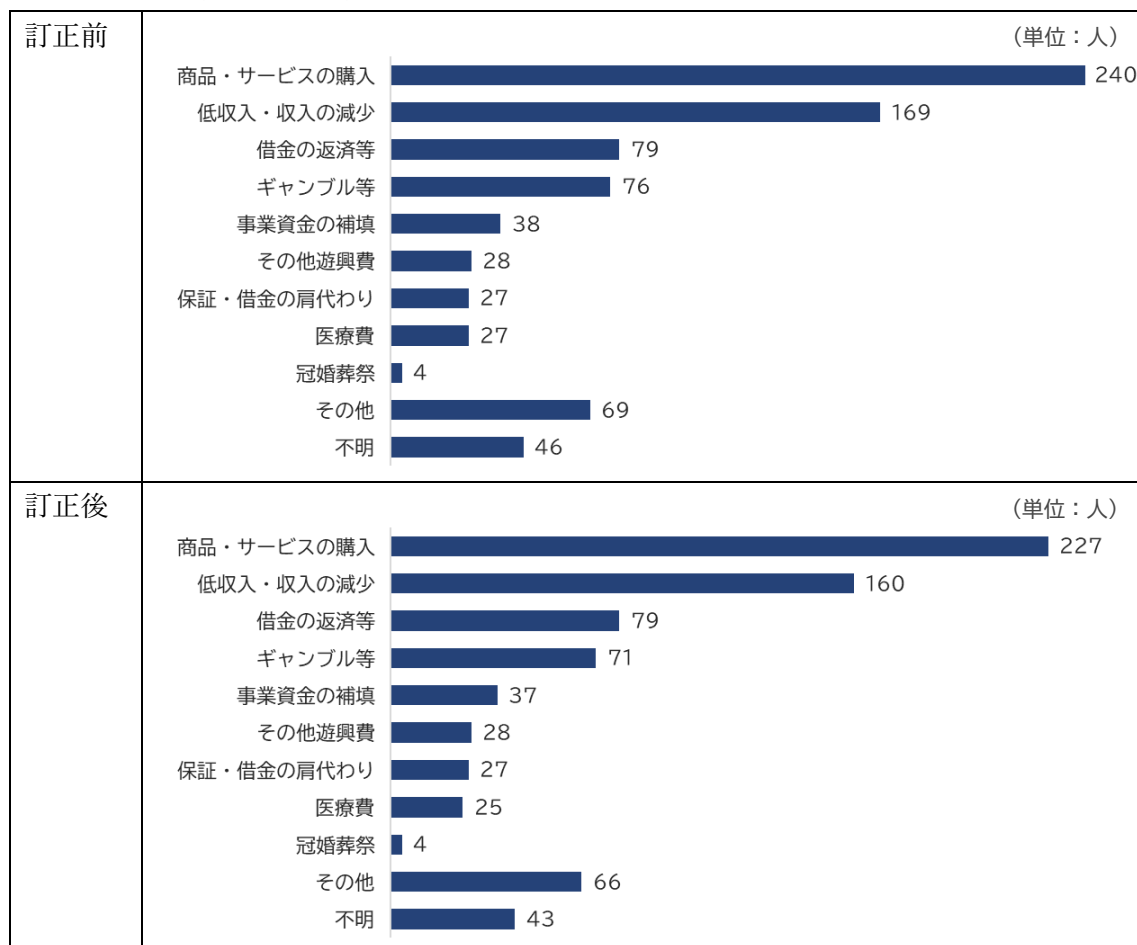
【相談者の職業】



【借入残高】



【借金の原因（複数回答可）】



問い合わせ先

九州財務局総務部財務広報相談室
 電話：096-353-6351(内線 3030、3037)